

福井国体 きょう開幕

538 インカレ準V、実力急上昇

体操の成年女子は、全日本学生選手権（インカレ）団体で2年連続2位と近年急成長中の武庫川女大が頂点をうかがう。日本代表チームのコーチを務めた大野和邦監督が就任し4年目。女子体操界で存在感を放つ選手たちは「全員がパーフェクトな演技をして楽しみたい」と声をそろえる。

体操成年女子 武庫川女大

大野監督は日体大大学院在学中に日体大女子コーチを宣言し、着実に結果を残す。今年8月のインカレとしてインカレ団体3連覇。1999年に監督となり、さらに3度の団体優勝に導いた。その後、東京都内の中学や高校でも全国タイトルを獲得。全日本選手権3連覇中の村上葉愛（日体大）を育てたコーチとしても知られる。

チームは2年前から週1回程度、本番さながらの通し練習を自主的に実施する。声を掛け合い、演技終了ごとにハイタッチ。時には悔し涙を流しながら器用と向き合う。1年時から大野監督の下で練習に励むチームの主将、小笠原希は「目標に向かって一つになる姿勢が練習から自然と身についていた」と話す。

近年の躍進に「今が一番充実している」と地元・尼崎出身の県選手団主将を務める本田美波。初の国体出場となる平岩も「チームみんな楽しんでいいなと思ってもらえる演技をしたい」と力を込める。（長江優咲）

全日本学生選手権に続く躍進を誓う平岩優奈（後列左）ら武庫川女大の選手たち
西宮市、武庫川女大

